



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

詩篇第97編には、「主を愛する人は悪を憎む」(詩97・10)という言葉が出てくる。関根正雄先生の「詩篇注解」によると、旧約聖書の中で、「主(ヤハウェ)を愛する人」という表現は申命記以外、非常に珍しいそうである。旧約では、主は愛するべき存在ではなく、おそるべき存在なのだ。しかし、この詩篇は「主を愛する人は」とうたう。それについて、関根先生は、次のように解説される。「終末時に関する偉大なる告知は内容自身としては未来のことに関わるが、これはただの告知ではなく、正に、神の告知なるが故に、今すでに聴く者の決断を促すのである。神の告知に接し、神のために決断する者は『神を愛する者』とされるのである。これが神の啓示、神の告知がただの事件の客観的告知と異なる点である。『主を愛する者』とは、すなわち神の語り給う約束を、正にすぐそこに来るものとして、生きていく決断をする者の姿なのだ。神の約束された終末の時、キリストの再び来り給う再臨の時とは、「いつか来るもの」

必ず来る、確実なものなのだ。その決断のもとに生き、決めるものは決め、断つものは断つていく。それが、「主を愛するものは悪を憎む」という詩となるのである。

さて、アシュラムの手引きの中で、「エウセベイア(信心)としてのアシュラム」ということが述べられている。主の約束された再臨は近いと主張していた

には忍耐を、忍耐には信心を、信心には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい」(Ⅱペトロ1・5-7)の中で、「信心」と訳されている言葉こそが、「エウセベイア」であり、新改訳聖書では、これを「敬虔」と訳している。

「信じる」ということは、だれにとつても緊迫状況下において起こるものでもあります。しかしこれが「信

瞑想

夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗いと輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意していただく。

Ⅱペテロ1・19

主幹牧師 榎本 恵

初代教会にとつてその遅延は、大変由々しき問題であった。そこでペテロの手紙は、再臨は決して遅れて

仰生活」となると、現実の生活の中で連続して行われなければなりません。それはちょうど幾何でいう「点」と「線」の関係のようなものです。点には面責がありませんが、点が無数に連続すると線になります。つまり「信じる」ということは点のようなものです。この点のようないくところにとが連続していくところに『信仰生活』が生まれるて

くるのです。エウセベイア、即ち『信じる』ということ

が、初代教会の人たちの修正された再臨信仰に必要であったように、現代に生きる私たちにとつてもまた必要なものであります。(榎本保郎著「アシュラムの手引き」より)アシュラム運動とは、まさにこの信仰の点を信仰生活の線にしていく運動なのである。そして、それが、私たちの「主を愛するもの」としての応答となつていかなければならぬのである。「夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗いところに輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意していただく」(Ⅱペテロ1・19)ペ

トロの手紙は、その点を、暗闇の中に光るともし火としてかかげ続けることをも求めるのだ。

友よ、「主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のくようなようです」(Ⅱペテロ3・8)最後の時、そして主の再臨の時を告げる偉大なる告知を信じ、いつも心のともしび

としながら、毎日の信仰告白を続けていこうよ。必ずそれは、信仰生活という線

になつていくのだから。

味なものではない。それは、

「もしかしたら来るかもしれないもの」などという曖昧なものではない。それは、

信

を、知識には自制を、自制

を、

信

を、

信

を、

信

を、

信

を、

信

を、

# 第4回 日光オリーブの里 アシユラムに参加して

中村 薫

一つのみ言葉が自分の生き方を変える力があると思う。今回エレミヤの31章15、16、17節のみ言葉を与えていただいたことが、一番良かったと思う。新しい契約を立てて下さった神のご計画だ。

た神のご計画を思うことができた。マタイ福音書2章18節だけでは全くわからなかった神のご計画だ。今回の主題聖句のエレミヤ31章3節を読んだだけではわからなかったが、31章の全体を読み、黙想し、神のこしえの愛は、昔から今に至るまで続いていて、これからも続くのだとわかった。今の私の色々な苦しみや悲しみは、私を創り変えるため、再創造するため、の苦難だったと思えるのは本当に幸いだ。



食堂、テラスにて。

アシユラム

の集会に通いはじめ約一年が経ち、今回初めて日光オリーブの里アシユラムに参加した。開心の時、静聴、恵みの時、充滿の時、レビの時といったアシユラムの専門用語の意味が良くわからず、正直とまどった。



3日目は、アジア学院へ。震災後、新しく建てられた和風の礼拝堂にて。(中央、荒川校長先生)

オリーブの里、礼拝堂とともに。



三日目に行ったアジア学院訪問は、自分では何の興味もない場所だったけれど、行かれて良かったと今は思っている。野菜の一つ、一つの作り方を教えるというより、農業の全体像をここでは教えて

いるとおっしゃっていた校長先生の説明が印象深く、こんな良い働きをしているアジア学院は素晴らしいと思いました。

(東京聖書教室、  
桜美林リトリート  
アシユラムの友)

## 第40回 山陰アシユラムを迎えて

宮脇 幸子

まず40回迄継続出来ましたことに感謝です。お祈り下さいました多くの方々に、また実際に出席して下さい下さった方々に感謝申し上げます。

10月3、4日村

瀬俊夫先生と、この度は奥様も出席して下さいました。村瀬先生には、いつも信仰を新たにされ深められています。



- ご献金者
- 敬称略
- 8月分 義明
- 山岡 9月分 房
- 二国 良雄
- 金山 和子
- 山田 哲造
- 中谷 多子
- 斎藤 本つ子
- 相川 良子
- 阪神
- ミニアシユラム
- 朽木 順子
- 伊達 知恵
- 持田 裕子
- 沖田 朝子
- チャイム
- コンサート
- (池田
- チャイムの会)
- 榎本 和子
- 榎本 てる
- 山岡 義明
- 橋川 芳子
- 城 喜久雄
- 榎本 恵
- 榎本 康子
- 榎本 光太
- 福岡聖書教室
- 吉田 美子
- 植松 喜美子
- 越智 千歳
- 上 京子
- 山田 喜久子
- 香川 孝子
- 正岡 リッコ
- (産生癒合会)
- 村上 勇
- 脇 萬里子
- 吉川 禮子
- 榎本 喜久子
- 常任運営委員会
- 小林 茂男
- 小林 佳子
- 小林 正子
- 井上 美加
- 李 非玲
- 村瀬 俊夫
- 金子 孝子
- 明石 シオン
- (退院癒合会)
- 広野 祈の家
- 齋藤 星耕
- 稲荷 明古
- ちいろば
- 教師記念
- チャベラダ礼拝

今回は、わたしたちは「イエス・キリストを信じる信仰」に立っている。それはルターの信仰に関する傾向ではないかと思われすが、わたしたちは「イエス・キリストの信仰をまもっている」と言われました。私は頑張る信仰であったことを思い、肩の力を抜いて委ねる信仰に移行することにしました。すると、肩凝りが治った感覚を味わいました。

村瀬敬子さんのお証しでは、教会形成の始めの頃のご苦労されたことや、ご自分の欠けに気付かされ変えられたことなど、お話を伺いながら現在、教会は多くのクリスチャン一世が高齢化していく中、二世、三世と続くことの難しさを思い廻らされました。

今回も吉仲妙子さんによる腹話術などもあ



りまして、出席者はリーダーの方々ですし心配していました台風の影響もなく、一人一人それぞれに恵みに満たされて帰途につきました。次の日、台風の

栗山 隆弘

去年から小林姉妹に紹介して頂いていました。が仕事で参加する事が出来なくて残念でした。

しかし、今年神様の導きと小林姉妹の紹介により参加させて頂きまして有難う御座います。神様に感謝致します。

場所は、神様が天地創造された自然の中で包まれ、心が落ち着く神聖な所でした。

とてもすがすがしく、心が癒される気持ちでした。

開心の時・それぞれ兄弟姉妹の人生、信仰生活での苦難や、困難、悩みなどを哀れみ、神様の

### 第36回 関西青年アシラムを迎えて

影響で米子空港は東京便が欠航となり、主の御計らしいに感謝と喜びが倍増致しました。

(三保キリスト教会、山陰アシラム 実行委員)

御前で皆が分かち合える事は凄く良い事だと思えました。

静聴・心を沈めて聖霊で心を満たし、神様から直々に御言葉を学び、神様の御声が聖霊の働きにより聞く事が出来、真理を学ぶ事が出来ました事を神様に感謝致します。

とても良い経験をやる事が出来ました。これにより神様の祝福と導きを通して信仰が正され、聖霊と御言葉が豊に実を結ぶ事が出来、喜びが湧き出て愛の技の実践が出来ると実感しています。

恵みの時・神様から御言葉を聞き、神様の栄光が豊かに注がれる事を実感しました。

又、誰かの為に祈りをあわせる事はとても素晴らしい事と実感しています。

アシラムの参加は今回が初めてで、戸惑

う事もありませんが神様の導きと皆さんがたの協力、助け合いによつて無事に第36回アシラムを迎える事が出来ました事を心から感謝致します。又ご飯がとても美味しく感動いたしました。神様の恵みに改めて感謝と喜びを感じました。

此れからも、私たちの信仰の成長と、祈り、愛の技の実践(御言葉を実行する)、福音伝道に向けて、全ての人が救いに導かれ神様の愛を知りイエス様を信じ、救われる方たちを導き出す働きが神様の御心のままに、アシラムを通して私達が遣わされる事を願います。

又、多くの方たちがアシラムに導かれまますようにお祈り致します。アーメン

(日本キリスト教団 堺教会)

- 美久子 久一
- 岩波 久一
- 山本 聖書教室
- 佐藤 聖書教室
- 向井 聖書教室
- 引原 センター
- 聖書教室
- 後宮 愛子
- 後宮 勇夫
- 金田 健一
- 山本 和子
- 米田 アシラム
- 米田 歌子
- 米田 康子
- 大浜 聖書教室
- 吉田 すみえ
- アシラム
- 山崎 安子
- 山本 啓子
- 山本 徳文
- 山本 世世
- 飯内 キヨエ
- 前田 ちひろ
- みぎわホーム
- 阪神
- ミニアシラム
- 内海 初子
- 68口
- ¥914.142
- 金 義
- 飯内 キヨエ
- ちひろ
- アツちゃん
- シユラム 君
- 夕礼拝
- (ちひろ
- タオル)
- アシラム
- (ちひろ
- タオル、
- 「ちひろ
- は教師
- アシラム
- を語る」
- 4口
- ¥29,500
- 合計
- 72口
- ¥943,642
- 感謝いたします

### 熊本地震のための

### 暖かいお支えに感謝して(1)

熊本アシユラム 竹内一臣

世の中には悲しいことが沢山あります。私達には理解できないことも沢山あります。

今回の地震で失われた105人の命、倒壊した172,797棟の家屋、神様は私たちの苦しい思いをご存知なのでしょう。神様は本当に愛なのでしょう。

私たちは今回の地震でそのような思いに襲われました。最初の地震から28時間後の4月16日(土)の午前1時25分、震度7の地震が再び熊本を襲いました。ゴーという音とともに、部屋中が激しく揺れました。我が家に避難してきた娘家族、二階に住んでいる息子家族の名前を互いに呼び、無事を確認した後、倒れた食器棚やガラスで足を切らないように注意しながら、避難場所になっていく公園に逃げました。厳しい寒さの中、グラウンド

シートを引き、嫁が非常用袋に入れていたカイロを孫たちに配りました。孫のホッとした顔を覚えています。私の生家は震源地に近い健軍でしたので、地震数日後、現地向かいました。一人の友人の家はベシヤンこつぶれ、理容店を経営していた友人は店も住居も全壊で、立ち入り禁止の黄色いロープがはられていました。幼いころ遊んだ川は、堤防がくずれ、道路は陥没し、静かで美しかった街並みは一夜にして死の街並みに変わってしまいました。地震から5カ月が過ぎました。傾き壊れた家の解体作業が行われていますが、まだ手付

かずの状態のところほとんどです。しかし、地震発生の翌日から全国から暖かい支援物資が届き、自衛隊の救援活動が始まりました。ルーテル教会も救援対策本部を立ち上げ、翌日には緊急支援物資を満載したトラックが熊本に到着しました。ルーテル健軍教会は16日の夜から、教会を開放して地域の方の避難所となり、50名の方の生活場所となりました。礼拝堂も集会室も人と荷物にあふれ、先の見えない不安と恐怖で人々は疲れていました。しかし女性会が中心になって、炊き出しが行われました。聖日礼拝はその時間だけ荷物が行付いた集会室を使って行われました。ルーテル学院は4月16日から27日まで、延べ約1000人の地域の方を受け入れ、中高大学の教職員及び大学生ボランティアが避難されている方の炊き出しや声掛けなどを献身的におこない、多くの感謝が寄せられ、お礼のハガキが届きました。

「あれからひと月が経ちました。ルーテル学院の皆さまはお元気ででしょうか、本震発生後からかなりの数日間、大変お世話になりました。避難先であのようなおもてなしを受けられるとは思ってお

りませんでした。贅沢なほどに美味しいお食事、校長先生の細やかなお心遣い、先生方の元気と笑顔、夜中にも巡回を下さった警備の方、そして、大学生ボランティアの皆さんの献身的な関わりは、とても尊い姿でした。不安の中、ルーテルに集まった者にとりましては、この上なく心地よい居場所でした。学院の皆さまも被災をされていながらも関わらず、私達のためにお力を尽くして戴き、感謝にたえません。あの地震により失ったものもありますが、ルーテル学院の皆さまからかけがえない愛をいただいた思いです。これからのルーテル学院のますますのご発展を心よりお祈り申しあげます。愛に充ちたルーテル学院の皆さま、本当に本当に有難うございました。遅くなりましたが、お礼まで。」

避難所でお世話になった者です。私たちは災害そのものに神の御心があるとは語りませんし、災害や苦難

を神の裁きとする考えにも立ちません。苦難の象徴である十字架と希望の象徴である復活のキリストに心を向け、災害によってもたらされた苦難の中にある人々のとなりびととして、信仰と希望と愛をもって、神と共に仕えてゆく教会であることを熊本にあって証して行きたいと考えています。―やれることを、やれるだけ、励ますのではなく、寄り添い、心をこめて取り組んでいく働きが続けられています。救援対策本部は副教区長の岩切牧師を本部長として、福岡、北九州の牧師先生方と現地専従スタッ



ルーテルの方々と作業の後で。(右端・筆者)

ルの方々と作業の後で。(右端・筆者)

フが広安愛児園に避難所を開設、被災者のニーズを聞き取りながら、地域支援（片付け、引っ越し）を継続し、現在は避難所が終息する時まで、支援を継続しつつ、仮設住宅が建設される地区の支援に入ることが検討されています。

仮設住宅の3分の1は高齢者夫妻か一人住まいの方と言われていて、孤独死をどう防ぐか、今後の取り組みの大きな課題の1つです。

地震後まもなくして、全国のアシユラムの皆さまからの義援金をアシユラムセンターを通して戴きました。尊い心のこもった皆さまからの義援金を、どうしたら皆さまの心にそった使い道ができるか、九州教区常議員会・ルーテル学院との相談の結果、今週の土曜日（10月15日）ルーテル学院の生徒、教職員、教会からのボランティアが熊本空港の近くに建てられた西原村の仮設住宅の花壇づくりに出かけます。西原村は熊本地震復興のために、村の災害ボラン



花壇づくりのご奉仕に感謝。

ティアアセンターが核となった土地や、避難所、仮設住宅に地域の人々とボランティアで花を植えていく、その活動は瓦礫置き場になっているグラウンドから瓦礫がなくなるまで継続されます。そしてそのグラウンドで、再び村の夏祭りが出来るようになった時、西原村が花と未来へのメッセージで溢れ、村民全員が笑顔で暮らせる日がくる。そのことを確信して取り組みを始めています。ルーテル学院の建学の精神は感恩奉仕です。その心を生徒の中に育てる取り組みの一つとして学

院はボランティア活動に取り組んでいます。「ボランティアつまり奉仕活動はその根をどこにおいているかといえれば一人ひとりが神様に愛され、生かされているという感謝と喜びの気持ちに根を下ろしています。自分の家のこと、自分のためだけにいくら努力しても、それは奉仕とはいえません。自分を超えて他者のために生きるのが奉仕です。自らボランティア活動は強制されて行うものではないと期待しません。これは金銭的な問題ですがそれ以上に精神的には喜びがあります。この喜びは、奉仕したことのある人だけが知る喜びと生き甲斐です。すべての人は善意を持っていてと思います。悪意だけの人なんていません。その心に向かって、いかに呼びかけ、一つの活動を生み出すかが大切なことだと思えます。人が善意を持って他者のために時間と能力を捧げていく、そしてこのボランティアの精神が、この若い人たちの心の中心に植え付けられていくならばまたこうした働きが

この地方のいたるところに花を咲かせていくならば、本当に住みよい熊本市になるに違いない。この確信して学院は日常の教育に取り組んでいます。被災地の瓦礫が花で埋め尽くされる時、本当の復興が終わる。被災地の人々は諦めることなく、復興に向かって力強く立ち上がっています。そして、共に成長していく、復興へと歩んでいく努力が日々続けられています。皆様の尊いお支えとお祈りに心から感謝いたします。復興のために大切に使わせて戴きます。

に植え付けられていくならばまたこうした働きがこの地方のいたるところに花を咲かせていくならば、本当に住みよい熊本市になるに違いない。この確信して学院は日常の教育に取り組んでいます。被災地の瓦礫が花で埋め尽くされる時、本当の復興が終わる。被災地の人々は諦めることなく、復興に向かって力強く立ち上がっています。そして、共に成長していく、復興へと歩んでいく努力が日々続けられています。皆様の尊いお支えとお祈りに心から感謝いたします。復興のために大切に使わせて戴きます。

に植え付けられていくならばまたこうした働きがこの地方のいたるところに花を咲かせていくならば、本当に住みよい熊本市になるに違いない。この確信して学院は日常の教育に取り組んでいます。被災地の瓦礫が花で埋め尽くされる時、本当の復興が終わる。被災地の人々は諦めることなく、復興に向かって力強く立ち上がっています。そして、共に成長していく、復興へと歩んでいく努力が日々続けられています。皆様の尊いお支えとお祈りに心から感謝いたします。復興のために大切に使わせて戴きます。

あとがき

アメリカ大統領選挙の結果に、啞然としているのは、私だけではないだろう。神は、この世界をどこへ導こうとされているのか、今こそ、世界と祈りを合わせなければならぬ。この秋、ブラジルのルイジラモス教会の今野ジョエル牧師がセンターを訪問してくださった。またハワイの三宅展子牧師も、アンナ祈りの家に泊まっていたとき、アジア学院の一行とともに、旧交を温めることができた。アシユラムの友は世界は繋がって行く。どの国であっても、どんな世にあっても、祈り合う美しい世界をわたしは希望している。(恵)



英語+日本語の早天祈祷会。メッセージは、ジョナサン師(アジア学院・左から3人目)三宅展子師(ハワイ 左から2人目)は、合同平和祈祷会講師も。

12月のアシュラムなど		
2(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
8(木)	常任運営委員会 (アシュラムセンター)	0748-33-4030 アシュラムセンター
12(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) 奉仕者 榎本恵師	092-607-8251 樋口栄子姉
16(金)	合同聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00大阪、 カフェちいろば、センター聖書教室を 合同で開催・クリスマス愛餐会in WハウスAM12:30 どなたでもどうぞ) (差し入れ大歓迎) 送迎あり。 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター 
18(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝・愛餐会 (PM5:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
20(火)	桜美林リトリートアシュラム (桜美林大学荊冠 PM2:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
26(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 PM2:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
27(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

2017年のアシュラム予定 (榎本保郎牧師召天40周年記念の年です)	
第42回 年頭アシュラム	
日時	1月26~28日(木~土)
場所	関西セミナーハウス
奉仕	榎本恵師
申し込み	アシュラムセンター 0748-33-4030
ブラジルアシュラム	
日時	3月26~28日(日~火)
□サンゼルスアシュラム 榎本保郎牧師を偲ぶ会、コンサート	
日時	4月1~4日(土~火)
	4月1日:一日アシュラム、2日:偲ぶ会、3~4日:一泊アシュラム
	日本、世界各国からの参加者もお待ちしています。現地集合。
問い合わせ	アシュラムセンター 0748-33-4030
たびんちゅ牧師と行く 沖縄巡礼の旅・沖縄聖書教室	
日時	慰霊の日 6月23日前後
第14回 国際正義・平和アシュラムin神戸 ♪ 沢知恵さんコンサート ♪	
日時	9月25~27日(月~水)



センター聖書教会の後で  
和子母と、渡辺玲子姉(保郎  
師時代から続く祈りの友)

今野ジョエル師(左)と  
ブラジルのアシュラムに  
ついて熱く語り合う。



## みことば

岡山聖書集会(無教会)  
香西 信

### 「ことばの意味を開く(9)」

逆説的な真理が私たちに深い啓示を与えてくれる箇所として、ヨハネによる福音書9章1節から12節を見たいと思います。シロアムの池でのイエスさまによる盲人の癒しの記事です。

古今東西を問わず、病、身体的障害を説明する際によく用いられるのは因果応報の観念でした。それはユダヤ教として例外ではありませんでした。

しかし苦しんでいる当事者にとっては、この考えに囚われれば囚われるほど、救いから見放されて、絶望の淵に立たされる心持ちになるのではないかと思います。

因果応報の考えは弟子たちの質問によく表れています。弟子たちは、この人が先天的に目が見えない原因は、本人の罪の報いによるものかあるいは両親の罪に祟られているためか、とイエスさまに質問しています。

それに対して、イエスさまは全く新しい見方を私たちに示してください。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」

病、障害というものの価値観を180度転換した全く新しい真理がここにあります。つまり、人生における苦難、試練と敷衍して言えるこれらの境遇は神の栄光を讃えるために備えられたものであるという驚くべき真理の意味をイエスさまは開いてくださるのです。

この箇所を読んだある障害を持った方が「私は本当の救いに出会った!」と感銘を受けて話されたのをお聞きしたことがあります。

私を含めて多くの健常者にとっては、おそらくこのようなイエスさまのみ言葉を聞くと、目からウロコではないかと思います。けれども、障害を持った方にとっては、ずっと探し求めていた自分の存在価値をイエスさまがはっきりと認めてくださったと、こころに響いてきたのだと思います。このように聖書の真理は、求めている者の魂の渇きを必要十分に満たすものであるということが言えます。

### たびんちゅ牧師の今日も求道中

FEBCラジオ放送にて

恵師 担当番組、始まります!

2017.1月~3月(水)夜10:14~

AMラジオ1566 KHz インターネットwww.febc.jp.com

